

特定非営利活動法人 / 集めて使うリサイクル協会

# 協会報

2013年 7月15日発行 Vol.39

昨年度は前半に事務所の移転などがあり、なかなか腰を据えた活動とはならなかったものの「アルミ付紙パックリサイクル事例集Vol.3」の発行に伴う取材で、各地のリサイクル現場を訪れ情報収集を行ったことにより、各地との関係づくりが進み、システムの活性化を図ることが出来ました。



和田代表理事

平成25年5月31日(金)大阪産業創造館に於いて、特定非営利活動法人集めて使うリサイクル協会の平成25年度通常総会を開催いたしました。正会員総数45名、出席者37名(委任状16名含む)により平成24年度事業報告、決算報告、平成25年度事業計画および予算等すべて異議なく承認されました。

## 集めて使うリサイクル協会

## 平成25年度 通常総会・情報交流会

### <平成25年度理事>

- ◆ 大塚 豊 ◆ 北村 貴則
- ◆ 須田 充訓 ◆ 高田 嘉敬
- ◆ 西田 克彦(事務局長)
- ◆ 和田 志津子(代表理事)

### <平成25年度監事>

- ◆ 塩瀬 宣行
- ◆ 森住 明弘



平成25年度理事・監事

さらに東広島市役所からエコ酒屋を市内に作りた、という相談が寄せられたり、熊本の水俣市でエコ酒屋を呼びかける取り組みが始まるなど、着実に私どもの活動が各地に浸透して行っている状況が報告されました。また本年度は役員改選期にあたりおりましたが、現在の6名の理事の再任が理事会で決まったことが報告され、総会場で現在の2名の監事を再任し総会を無事終了いたしました。

引き続き、情報交流会を開催。古紙ジャーナル社の本願編集長と社会福祉法人新生会の高田理事に、それぞれ「古紙」と「福祉作業所」に関する講演をしていただきました。また集めて使うリサイクル協会の「資源リサイクルと福祉作業所活性化事業」について、事務局長の西田が報告させていただきました。

## 情報交流会



古紙ジャーナル社 編集長 / 本願 貴浩氏

今日からあなたも古紙っ子

古紙ジャーナル 編集長 本願 貴浩

今日からあなたも古紙っ子

日本で唯一の古紙専門業界紙「古紙ジャーナル」は昨年で発刊20周年を迎えました。現地取材、アグレッシブな紙面作りからも伺える、グローバルな視点からの情報として編集長の本願氏から講演いただきました。

### 最近のトピック

- ・ 昨年、国内価格が2度の下げ
- ・ 段ボールメーカーがカルテルの疑い
- ・ 中国の紙・板紙生産が1億トン突破
- ・ 中国のグリーンフェンス(環境規制)強化で増産の輸出が停滞、価格も下落
- ・ 持ち寄り古紙撲滅に向けて各組合が本陣

### 家庭系古紙の回収形態

### 製紙原料と古紙消費

### 古紙っ子メニュー

1. 古紙の特徴とは?
2. 古紙の消費?
3. 品種ごとの回収量
4. 排出先別の回収量
5. 家庭系古紙の回収影響
6. 個人回収について
7. 今後の価格予想とまとめ



事務局長 西田 克彦

「集めて使うリサイクル協会」は、設立から今年で15年になります。資源リサイクルと福祉作業所活性化事業を柱に、当初より回収の仕組みのない酒パック、アルミ付紙パックのリサイクルシステムの構築を目指して活動を展開してまいりました。様々な企業・団体の協力や連携によってゆっくりではありますが全国各地にリサイクルの仕組みが芽生え、動き出し始めています。この15年の歩みを下記にまとめてみました。



## 15年の歩み

- 1995年** 容器包装リサイクル法制定 酒容器の紙化、大容量化進む。ごみ減量、リサイクルへの関心高まる。
- 1997年** 容リ法一部施行
- 1998年** 「集めて使うリサイクル協会」 設立 印刷工業会委託事業「アルミ付紙パックリサイクルプロジェクト」スタート
- 1999年~2001年** 地球環境基金助成事業 「その他紙容器包装リサイクルに関する自治体調査」等実施
- 2000年** 酒パック回収ボックス開発、酒飯店での回収実験 障害者作業所仕事づくりネットワーク「リサイクルロンドぎふ」立ち上げ 容リ法完全実施
- 2002年** 酒パック回収拠点「エコ酒屋」誕生(熊本・宮崎・岐阜) 酒パックリサイクルキャラクター 制定 障害者作業所仕事づくりネットワーク「リサイクルロンドながの」立ち上げ NEW環境展2002(大阪)(福岡)・エコプロダクツ2002(東京) 出席
- 2003年** 「酒パックリサイクリング問題研究会」 発足 NEW環境展2003(大阪)・A-PACK2003(大阪)・エコプロダクツ2003(東京) 出席
- 2004年** 大阪府の認証により法人化「特定非営利活動法人」となる 地球環境基金助成事業 「アルミパックのリサイクルに関する調査」 実施 NEW環境展2004(大阪)・エコプロダクツ2004(東京) 出席
- 2005年** 地球環境基金助成事業 「酒パックリサイクルキャンペーン」を各地で実施 アルミ付紙パックリサイクル事例集 Vol.1 発行 A-PACK2005(大阪)・エコプロダクツ2005(東京) 出席
- 2006~2008年** 地球環境基金助成事業 「家庭ごみに関する自治体調査とシンポジウム」 実施 エコプロダクツ2006(東京) 出席
- 2007年** 「酒パックリサイクル促進協議会」 発足 A-PACK2007(大阪)・エコプロダクツ2007(東京) 出席
- 2008年** 灘・伏見地区酒パック循環システム スタート NEW環境展2008(大阪)・エコプロダクツ2008(東京) 出席
- 2009年** アルミ付紙パックリサイクル事例集 Vol.2 発行 酒・アルミ付紙パックリサイクルマーク 制定 エコプロダクツ2009(東京) 出席
- 2010年** エコプロダクツ2010(東京) 出席
- 2011年** 地球環境基金助成事業 「エコ酒屋3R推進キャンペーン」 実施 エコプロダクツ2011(東京) 出席
- 2012年** エコプロダクツ2012(東京) 出席
- 2013年** アルミ付紙パックリサイクル事例集 Vol.3 発行 リサイクルロンドぎふ法人化(特定非営利活動法人) エコ酒屋登録:1道1都2府32県に計478店舗となる(6月末日現在)



### 県別エコ酒屋分布マップ



# アルミ付飲料用紙パック リサイクルプロジェクト

## 活動1 報告

### ALMprj.'12



アルミ付紙パック  
リサイクル事例集 Vol.3

平成24年度は、アルミ付紙パックリサイクル事例集づくりが特化した活動になりました。活動の広がりの中で今まで紹介してないアルミ付紙現場も増え、今回は新しい団体を中心に取り上げました。

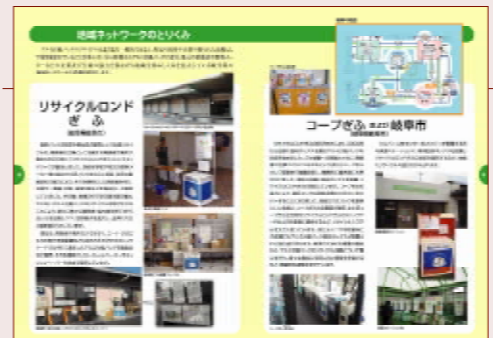
特に大手企業の特例子会社として酒パックリサイクル工場が操業していることや、地域の障害者施設との連携によって社会貢献活動

を展開する地元企業やスパーの姿などが見えてきたことは、大きな前進と言えます。

また印刷工業会液体カートン部会環境委員会のメンバーから事例集編集委員を選出し、取材を含め数度の編集会議に直接かわるなかで事例集が行われました。

平成24年度は、アルミ付紙パックリサイクル事例集づくりが特化した活動になりました。活動の広がりの中で今まで紹介してないアルミ付紙現場も増え、今回は新しい団体を中心に取り上げました。

特に大手企業の特例子会社として酒パックリサイクル工場が操業していることや、地域の障害者施設との連携によって社会貢献活動



事例集より抜粋/地域ネットワークの取組



事例集より抜粋/特例子会社の取組

# エコプロダクツ 2012



エコプロダクツ2012  
シンボルキャラクター  
「エコびよん」

## 活動2 報告

主催者発表

開催3日間の総来場者数: 178,501人

◆と き: 12月13日(木)~15日(土)  
◆と ころ: 東京ビッグサイト

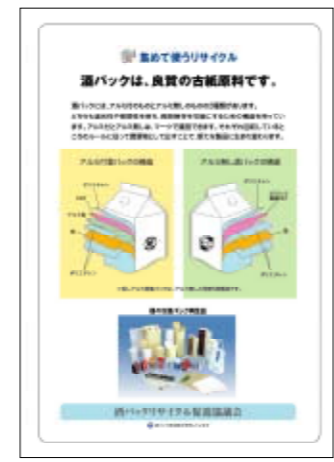


年末には、協会参加イベントとして定着しているエコプロダクツ2012に例年通り2小間スペースで酒パック・アルミ付紙パックのリサイクルプロジェクトについて情報発信。L紙紙パックリサイクル推進研究会・酒パックリサイクル促進協議会の活動についても、パネル展示およびそれぞれの各

社パッケージを展示しました。前年度から酒パック・アルミ付紙パックを原料に使用して出展ブース及びディスプレイを製作していますが、その素材も徐々に認知されるようになり高評価を得て、いくつかの出展ブースに活用されるようになってきています。同時に今回は当方のブース見学者の板橋区立エコポリスセンターが、その後回収ボックスを設置しホームページに公開するなど、一定の成果が見られました。

# 酒パックリサイクル促進協議会

## 活動3 報告



貸出し用パネル

酒パックリサイクル促進協議会では、調査・広報の2つの専門部がそれぞれテーマをもって活動するなど酒造メーカーの関わり方が主体的になってきたと言えます。

### 専門部会の活動

調査部会が毎年行っている酒パック調査では、会員企業の酒パック使用量は酒造メーカー全体の約60%弱となり、また会員企業の工場損紙リサイクル率は95%を超えるところまで上昇しています。

広報部会では、会員企業への貸出し用パネルを製作、

各社のホームページで酒パックリサイクルに関する情報を発信していくよう要請するなど積極的なかわりが見られるようになってきました。

### 灘・伏見地区 酒造メーカーの動き

灘伏見酒パック循環システムでは、スタートからの回収量累積は、700tを超え平成25年3月順調に推移しています。同時に酒パックの再生商品についても、商品流通時に使用する天パット以外にも灘地区の酒造メーカー8社が共同して販売した「灘の生二本」720mlピンの

外装箱を、酒パック再生紙を使い統一デザインで制作するなど新たな取り組みも見られました。

九州エリアでは灘伏見循環システム同様の、酒造メーカー各社を結ぶ統一的な工場損紙循環システムの計画が動き出しています。

### 「日本酒で乾杯 推進会議」



「日本酒で乾杯」カートン

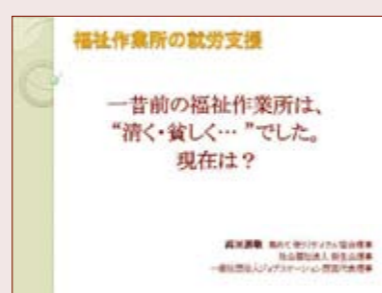
さらに京都市が「日本酒で乾杯」条例を施行したこともあり、日本酒の販促に絡め酒パックリサイクルをアピールすべく、「日本酒で乾杯」カートンの制作について酒造組合中央会内の「日本酒で乾杯推進会議」名使用の承認を受け、伏見・灘両地区酒造メーカーを中心に全国に情報発信できるように計画を進めています。

### 講演2

## 福祉作業所の就労支援



社会福祉法人新生会 理事  
高田 嘉敬氏



講演スライドより

集めて使うリサイクル協会の理事でもある高田嘉敬氏に、福祉作業所の置かれている現状や各地で取り組まれている様々な就労支援の実例などを、ご講演いただきました。

就業支援を行う福祉作業所には、A型(雇用)の利用者26、000人、事業所数450施設。B型(訓練)の利用者162、000人、事業所3、600施設。生活介護(訓練)の利用者244、000人、事業所数

2、900施設などがあり、訓練を中心とする作業所に於いての障害者の給料(工賃)は、全国平均月額13、600円(2011年)という現状が報告されました。そんな中で大阪ガステループの社会貢献活動「パソコリサイクル」「硬式野球ボールの再生+寄贈」「給湯器リサイクル」などが作業所の新たな仕事となり、組まれているいくつかのユニークな活動事例が紹介されました。

## 情報交流会

集めて使うリサイクル協会の理事でもある高田嘉敬氏に、福祉作業所の置かれている現状や各地で取り組まれている様々な就労支援の実例などを、ご講演いただきました。

<p><b>福祉作業所の就労支援</b></p> <p>福祉作業所の「新しい事業」④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者向け食料品販売事業</li> <li>● だんたんAnex</li> </ul>	<p><b>福祉作業所の就労支援</b></p> <p>福祉作業所の「新しい事業」③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 定年給付金・退職金給付事業</li> <li>● 高齢者向け食料品販売事業</li> </ul>	<p><b>福祉作業所の就労支援</b></p> <p>福祉作業所の「新しい事業」②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● サイクル・小型家電リサイクル</li> <li>● 高齢者向け食料品販売事業</li> </ul>	<p><b>福祉作業所の就労支援</b></p> <p>福祉作業所の「新しい事業」①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● サイクル・大型家電リサイクル</li> <li>● 高齢者向け食料品販売事業</li> </ul>
---	--	---	---